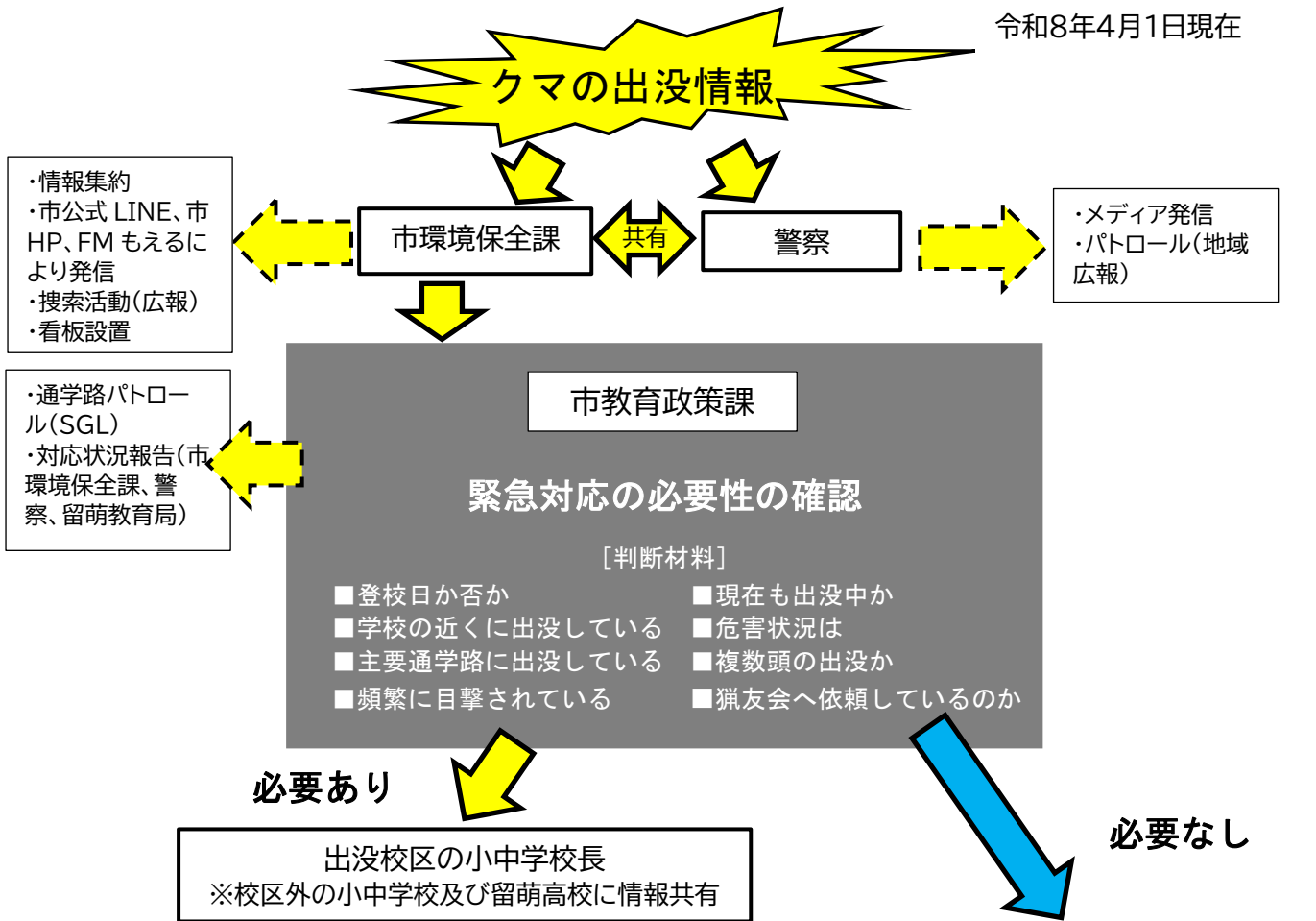


学校対応用 クマ出没対応マニュアル

令和8年4月1日現在



登校前に出没 (登校日前日の夜)	<input type="checkbox"/> 保護者へメール（出没情報、翌朝の登校対応） <input type="checkbox"/> 通学路のパトロール（警察、市、学校等）
登校前に出没 (登校日早期)	<input type="checkbox"/> 休校又は登校時間の繰下げの判断 <input type="checkbox"/> 保護者へメール（休校等の対応状況） <input type="checkbox"/> 通学路のパトロール（警察、市、学校等）
登校中に出没	<input type="checkbox"/> 通学路のパトロール（警察、市、学校等） <input type="checkbox"/> 保護者へメール（出没情報） <input type="checkbox"/> 保護者・市へメール（登校後の児童生徒の安否状況） <input type="checkbox"/> 下校時の対応（集団下校、親への引き渡し、パトロール依頼）
在校時に出没	<input type="checkbox"/> 屋内避難及び待機、安否の確認 <input type="checkbox"/> 連絡（学校関係者が目撃した場合は警察・市教委へ） <input type="checkbox"/> 児童生徒への指導（休み時間の過ごし方、下校時の注意事項） <input type="checkbox"/> 下校時の対応（集団下校、親への引き渡し、パトロール依頼）
下校中に出没	<input type="checkbox"/> 保護者へメール（出没情報） <input type="checkbox"/> 通学路のパトロール（警察、市、学校等）
休校日に出没	※部活動の生徒が登校する（上記状況を勘案し対応）

【判断材料】
<input checked="" type="checkbox"/> 登校日ではない <input checked="" type="checkbox"/> 学校や通学路から離れている <input checked="" type="checkbox"/> 通学路ではない <input checked="" type="checkbox"/> 既に山へ移動した <input checked="" type="checkbox"/> 危害状況はない

- ・ 出没校区の小中学校への情報提供
- ・ 最新の情報収集

※臨時休校等の場合は、給食関係者、留守家庭児童会等へ連絡する。

※特に留萌市では、5～6月に目撃情報が増えるので、保護者宛に毎年注意喚起を促していく。

クマの習性

- 例年留萌市では5～6月に多く出る。
- クマの繁殖期（6～7月）で、オスが頻繁に出歩く。
- 暑い時期は、涼しい早朝、夕方の活動時間が増え、朝夕に目撃されやすい。
- 9～11月は飽食期となり、冬眠に備えエサを探すため、夜でも活動する。
- クマは本来昼行性であるが、人との接触を避けるため夜に行動することもある。
- 草木を切って明るくするとよい。クマは警戒心が強いため、暗い所に出やすい。
- エサを求めて移動する。行動範囲が広い。
- 畑に出てきたクマに襲われることがある。
- 子連れの場合、母グマは子グマを守るために必死であるため、子グマに近付くと危険。
- クマは臆病な動物であるが、脅すと、怖がって襲ってくる。
- トウモロコシが好きで、桑の実にも来る。
- 嗅覚がものすごく敏感で、においにつられて来ることがある。
- 夏の暑いときは、川で遊んでいることがある。
- もしも、クマに出会ってしまったら
 - ・背中を見せて走って逃げない（本能的に襲ってくる）。ゆっくりと後ずさりして離れる。
 - ・カバンなどの持ち物を置いて、それにクマが気を取られている隙に逃げる。
 - ・クマが興奮するので、大声で叫んだり、石や棒などを投げつけたりしない。
 - ・クマが攻撃してきたら、両手で顔や頭をカバーして防御する。

子どもへの指導例

- ◎ 1人で行動しないで、友達と一緒に行動する
- ◎ 集団登下校の指導
- ◎ 携帯品の指導（クマ鈴 ※ 人の存在をクマに知らせ、出会わないための道具）
- ◎ 食べ物を持ち歩かない
- ◎ クマを見かけたら、どこでもいから近くの民家に保護をお願いすること
- ◎ 屋外での遊びの指導（山や藪などでの遊びは控えること）
- ◎ クマが近くにいるサインがあったら、その場から離れる
 - ・糞がある（人間と同じか少し大きめ）
 - ・足跡がある（幅は成獣で7～13cm）
 - ・クマ棚がある（樹上に折った枝を集めたもので、枯れ葉が付いていることで鳥の巣と区別）

各校における対応例

- ◎ 普段から保護者・地域・関係機関とクマが出没した際の対応を協議しておく
 - ・校舎周辺及び通学路の草木を切って明るくし、見通しを良くしておく
- ◎ 巡回・立哨・出迎え等の時間や役割分担、位置等を決めておく
- ◎ 保護者への連絡（一斉メール等）
 - ・保護者による付き添いや見守り等の依頼など
- ◎ 出没場所が学校の近くの場合は…
 - ・朝夕の大音量での放送による追い払い
 - ・雷管・爆竹・ロケット花火による追い払い（近隣住民への周知必要）
 - ・1人で行動しないで、複数体制で対応する
 - ・業間時間や昼休みに、子どもが校庭にいる場合は、音楽を流すと共に職員が観察する